

別記様式第十一

レコードの明細書

- 1 レコードの名称
- 2 レコード製作者の氏名<sup>フリガナ</sup> (名称)
- 3 レコード製作者の国籍等
  - (1) レコード製作者の国籍
  - (2) 音が最初に固定された国の国名
- 4 音が最初に固定された年月日
- 5 商業用レコードの名称等
  - (1) 名称
  - (2) 体様
  - (3) 製作者の氏名 (名称)
- 6 レコードの内容

〔備考〕

- 1 「レコードの名称」は、名称がないときは「なし」、名称が不明であるときは「不明」と記載する。
- 2 「レコード製作者の氏名 (名称)」には、かたかなでフリガナをつける。
- 3 「レコード製作者の国籍等」の欄は、レコード製作者が外国人であるときに限り記載する。
- 4 「商業用レコードの名称等」の欄は、商業用レコードがすでに販売されているときに限り記載するものとし、「(1)名称」は、名称がないときは「なし」と記載する。
- 5 「レコードの内容」は、レコードの概要を200字から400字程度で記載する。
- 6 その他は、別記様式第三の備考1から3まで、12及び13と同様とする。